

A-24 浅草岳 (1585m)

【山行日】2022年4月2日

【CL】2935 【参加者】2935 3084 3559 3580 3667

【コース】五味沢 7:00…10:30 P1246m…12:00 前岳…12:20 浅草岳 13:00…13:50 P1246m
14:20…15:00 五味沢

浅草岳は山スキーをする人にとっては、一度は行ってみたい山である。越後山脈の福島県と新潟県の県境にある山で300名山になっているが中京地区からは距離が遠く、また冬季は豪雪地帯で天候が安定しないことが多い山である。

山スキーを初めて40年ほどになるが、浅草岳は遠くにおいて想う山であったが、10年ほど前の紅葉の頃に山スキーでの登頂を果たすべくルートの下見山行を行った。それからは毎年のように山スキーの計画をしてきたが、悪天のため、すべて計画中止を余儀なくされた。コロナ禍で2年待ち、いつの間にか私も高齢者の仲間入り。体力のあるうちに今年も計画した。



守門岳バックにシール登行



嘉平与ボッチの雪庇

朝登山口近くの宿から出発すると、車が続々と登山口へ、除雪された終点付近には、早朝にもかかわらず道路わきに車列が続く、関東方面からの車も見かけたが、ほとんどが近隣のナンバーで郷土の山であることを感じさせる。歩きの人もいるが、山スキー登山の人が圧倒的に多い。

まだ氷結している林道を、シールを効かせて登る。若者たちが次々と抜き去っていく。標高800mくらいから背後に守門岳、明日登る守門黒姫が姿を見せる。1000mを過ぎたあたりから、この時期に思いがけなく霧氷が見えてきた。完全に氷結しており太陽の光を受け、虹色に輝いている様子が美しい。嘉平与ボッチを過ぎてから現れた巨大な雪庇には圧倒される。前岳を過ぎた頃より鬼ヶ面山の迫力ある岩壁が望め、東面側には緑豊かな山々にかこまれた静かな佇まいの田子倉湖を眼下に見ながら山頂に向かう。

山頂からは360°の素晴らしい眺望が広がっており南に尾瀬の燧ヶ岳、平ヶ岳、越後駒ヶ岳、中岳、八海山等、西に守門岳、守門黒姫、北東に飯豊連峰、見飽きることのない絶景である。

前岳まで戻りシールを外し、いよいよ滑降開始、前岳直下は氷結しており雪質をチェックしながら慎重に滑る。嘉平与ボッチを過ぎた頃よりザラメ状態となり快適な雪質となった。正面に守門岳、守門黒姫の眺望を楽しみながらの滑降。下部は快適なツリーラン。積年の想いを果たすことができ満ち足りた1日となった。同行の仲間へ感謝。(2935)



浅草岳山頂にて